

「さんふらわあ ぱーる」 “いづか雛(ひいな)”の船内展示 大好評開催中のお知らせ

株式会社フェリーさんふらわあ(代表取締役社長：井垣篤司)は、2019年2月14日(木)まで神戸－大分航路の「さんふらわあ ぱーる」にて、“いづか雛(ひいな)”の船内展示イベントを実施致します。

座敷に飾る座敷雛は元々、愛媛県の八幡浜が発祥の地ですが、雛一つ一つが、それぞれ題目をもち、独自性をもった座敷雛は、福岡県飯塚市が発祥のものと言われています。

今回「さんふらわあ ぱーる」に飾られている雛人形は、この福岡県飯塚市の座敷雛で、「日本の物語」をテーマに、日本の昔話や日本の祭りを題目に、見る人が楽しめるように工夫されています。

例えば、日本の昔話からは、“舌切り雀”や“京、五条大橋の弁慶と牛若丸”、“竜宮城の乙姫様や浦島太郎”が登場します。他にも隠れたところに、いろいろな昔話の登場人物や光景が登場しますので、目を凝らし探してみるのも楽しみの一つです。

また、日本の祭りでは、北は青森弘前の「ねぶた祭り」から、南は福岡博多の「山笠祭り」まで様々な祭りが登場します。中でも目を引くのが、大阪の「だんじり祭り」_ひと際目立つ大きなだんじり(山車)は、見るものを惹きつける豪快さがあります。他にも色々な祭りが登場します。

飯塚の座敷雛は圧巻です。是非この機会に、神戸－大分航路の「さんふらわあ ぱーる」に乗船頂き、飯塚の座敷雛をご堪能ください。

なお、福岡県飯塚市へは、大分港から車で約2時間で行くことができます。飯塚市では2月2日(土)～3月26日(火)まで、「いづか雛(ひいな)のまつり」イベントを実施します。ぜひフェリーに乗って「ひなの国九州」、飯塚へ足をお運びください。

フェリーさんふらわあは、関西－九州間の物流を担う役割を強化し、また旅客サービスにおきましては、船内設備の充実やエンターテインメント性を追求することで、気軽に非日常空間をお楽しみ頂ける新しい船旅「初めての経験 わくわくドキドキ さんふらわあのカジュアルクルーズ」を創造して参ります。皆さまのご乗船を心よりお待ちしております。



▲「さんふらわあ ぱーる」船内展示される「いづか雛(ひいな)」